

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第2グループ(住吉・井田)	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	中原区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	1 住吉こども文化センター ◎ 年間延べ利用者数	28,596人	◎ 年間延べ利用団体数	259団体
	2 住吉小学校わくわくプラザ ◎ 登録者数	243人	◎ 年間延べ利用者数	15,481人
	3 東住吉小学校わくわくプラザ ◎ 登録者数	191人	◎ 年間延べ利用者数	11,496人
	1 井田こども文化センター ◎ 年間延べ利用者数	42,027人	◎ 年間延べ利用団体数	167団体
	2 井田小学校わくわくプラザ ◎ 登録者数	422人	◎ 年間延べ利用者数	22,214人
	3 下小田中小学校わくわくプラザ ◎ 登録者数	442人	◎ 年間延べ利用者数	20,940人
収支実績	単位:円			
	1 収入 指定管理料	101,648,320		
	2 支出 人件費 管理費 事務経費 その他経費 合計	86,627,951 9,494,182 4,735,488 0 100,857,621		
	3 差引	790,699		
サービス向上の取組	全館行事、区行事やグループ行事など地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを行った。また経費削減へ取り組み、施設修繕や遊具の調達を行うなど利用者への還元を行った。			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 複数館運営するスケールメリットを活かし、全施設及び区内10館の合同行事を実施し、複数館で実施ならではの体験や他の施設を利用することも遠く交流を深めた。 グループ合同行事では「デイキャンプへGO!」を実施し、公開抽選を行うほど多くの申し込みがあった。交流ドッチボール大会では地域の枠を越えた混成チームとすることで、異年齢で仲間意識と信頼関係が生まれ、近隣小学校同士の日常的な交流に繋がった。 井田こども文化センターではびよびよ井田パークを新規事業として9月から開始し、1回につき20組以上の親子が参加した。また、サニーガーデンクラブの新規立ち上げ準備を行った。住吉こども文化センターではキッズダイニングクラブの立ち上げ準備を行った。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
	支出に見合う効果が得られているか				
(評価の理由) 会計処理・金銭処理については適正に行われている。受託20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取り組みによる経費削減を図った。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
<p>(評価の理由) 利用パンフレットや毎月のおたよりを発行し、近隣に配布、施設案内や毎月の活動を周知した。また、ホームページをリニューアルしタイムリーな利用案内や活動の周知を行った。特別な支援を必要とする児童への対応のため、巡回相談員の巡回、事例検討会等を実施し児童一人一人の状況を把握した。関係機関とのケース会議に参加し、個別状況に合わせた特別な支援を必要とする児童に対応した。区全体の運営協議会も年1回開催されており、地域との活発な意見交換、良好な関係作りにも寄与している。保護者を対象にわくわくプラザのアンケートを実施し、保護者懇談会も年3回実施した。</p> <p>住吉子ども文化センターは法政第2中・高等学校将棋部と交流があったが、さらに同美術部の協力を得て階段アートを制作、施設の美化につなげた。また、同吹奏楽部と地域で活躍している団体「おと絵がたり」と連携して、ふれあいコンサート&amp;おと絵がたりを実施し、児童だけでなく大人も多く参加し地域交流が深まった。意見箱や行事ごとのアンケート等を活用し、利用者の声を吸い上げる仕組みがあった。此文やわくわくを利用する保護者にアンケートを実施し、行事やスタッフの対応に反映した。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 子ども文化センターとわくわくプラザにおいて提案どおり適正な職員配置がされていた。特別な支援を必要とする児童については、適宜スタッフを追加で配置した。市主催の研修へも多数の参加し、市民活動センター全体、区、館毎の研修を計画的に企画・実施した。財団ホームページのリニューアルを機に、新ホームページ研修で情報提供の能力向上を図った。業務評価プロジェクトを立ち上げ、内部で自己評価をするための取り組みを推進した。また、研修受講後は会議等でフィードバックし情報共有を図っている。研修の効果を定着させる取り組みを行っている。個人情報や電子データは鍵のかかる保管庫に保管されている。情報漏えいや紛失等の事実はなかった。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	4	4
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 利用者が安全に利用できるようマニュアルを作成し、施設・設備の安全点検を実施するとともに、迅速に修繕を行うなど環境整備に努めた。また衛生管理についてもマニュアルを整備し、利用者の安心・安全に繋げた。スタッフへのインフルエンザ予防接種費用を補助することにより、スタッフの予防接種を促進し、利用者等への感染リスクを軽減させる措置を取っていた。食物アレルギー対応の研修については未受講の職員の受講を義務付け、臨時職員の受講も促進した。アレルギー児にも対応した非常食及び保存水を配備した。また、地域の合同消防訓練に参加し、児童の防災意識の向上に努めた。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>指定管理者以前から子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わった経験を生かすとともに、区内子ども文化センター10館合同行事「遊んじゃ王〜ステージⅡこ文レジャー大集合〜」や地域と連携した行事を開催した。</p> <p>特色のある行事としては、「デイキャンプへGO!」や「交流ドッチボール大会」を実施した。</p> <p>また、財団全体でホームページのリニューアルを実施し、新ホームページ研修で情報提供の能力向上を図った点や、体系的な研修計画を着実に実施したことに加え、研修効果を事業へ反映させるための取り組みや、食物アレルギー対応の研修を通じ安全確保への取り組みが具体的に定着している点を評価した。</p>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>引き続き、子ども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキル向上に努め、利用者にとって各施設がより居心地の良い場となることを期待する。</p>
--